

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹
(※)第2期実施計画の事業名	生活保護給付・自立支援事業		財務会計上の事業名	生活保護給付事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	1	財務会計上の短縮番号	3065
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	最低限度の生活を保障し、自立を助長する。
事業の対象 (誰を、何を)	生活困窮者
事業の手段・方法 (どのように)	生活保護法に基づき、生活費等を扶助する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	生活保護法

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27
事業費(千円)		1,734,730	1,579,221	1,520,597	1,695,525	96.3%
主な内訳	医療扶助費	822,173	740,305	724,848	823,260	97.9%
	生活扶助費	564,202	520,217	498,598	541,130	95.8%
	住宅扶助費	282,163	268,741	249,844	268,100	93.0%
人件費(人・千円)		5.86 32,160	7.09 40,726	7.09 39,874	7.09 41,222	100.0%
内訳	正職員	3.22 25,116	4.26 32,376	4.26 31,524	4.26 32,376	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	1.91 5,539	2.13 6,390	2.13 6,390	2.13 6,816	100.0%
	非常勤職員	0.33 825	0.70 1,960	0.70 1,960	0.70 2,030	100.0%
臨時の任用職員		0.40 680	0	0	0	-
支出合計 A		1,766,890	1,619,947	1,560,471	1,736,747	96.3%
財源	国・府支出金	1,338,973	1,230,153	1,125,372	1,271,643	91.5%
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		427,917	389,794	435,099	465,104	111.6%
一般財源比率 C÷A		24.2%	24.1%	27.9%	26.8%	115.9%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	現状の法律では認められていない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	保護世帯数	世帯	672	646	644	640	640
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	保護率	%	8.39	7.85	7.74	8.14	8.14
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	保護人数	人	859	806	799	800	800
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				生活保護法により、最低限度の生活を保障されているため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)					
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)					
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		法定数のケースワーカーで、生活保護受給者に対して必要な支援や指導を行っており、受給者の自立につなげている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	生活保護法により保障されている最低限度の生活を実現する事業実施はできている。	
現在抱える課題と対策	課 題	制度改正は毎年のように行われるが、生活保護世帯の増加要因に変化はない。
	対 策	国による抜本的な見直しが必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	国により生活保護法の一部改正は行われたが、生活保護世帯増加の要因に変化はない。今後も抜本的な見直し等が検討課題。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第2期実施計画の事業名	生活保護給付・自立支援事業		財務会計上の事業名	生活保護給付事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	1	財務会計上の短縮番号	2095	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	生活困窮者の生活向上
事業の対象 (誰を、何を)	生活保護世帯
事業の手段・方法 (どのように)	個室入院時の差額ベッド代および空調機稼働費を扶助する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	生活保護法、池田市生活保護世帯空調機稼働費助成金交付要綱

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		125		122		109		215		89.3%
主な 内訳	生活保護世帯空調機稼働費扶助	125		122		109		215		89.3%
										-
人件費(人・千円)		0.49	3,038	0.47	2,698	0.47	2,642	0.47	2,736	100.0%
内 訳	正職員	0.33	2,574	0.28	2,128	0.28	2,072	0.28	2,128	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.16	464	0.19	570	0.19	570	0.19	608	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,163		2,820		2,751		2,951		97.6%
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	110		108		97		170		89.8%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,053		2,712		2,654		2,781		97.9%
一般財源比率 C÷A		96.5%		96.2%		96.5%		94.2%		100.3%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	対象世帯が生活保護受給者のため不可能であると思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	扶助が必要な者	世帯	24	18	14	20	20
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				生活保護世帯の生活支援の一助となる事業内容は実施できている。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に についても言及して記入)	空港防音対策の一環として生活保護世帯に対しての事業であり、生活支援策として有効であると考えられる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成29年度の取組 (平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	生活保護世帯の生活支援となっている。
現在抱える課題 と その対策	課題 現状特に課題は無いと思われる。 対策
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	空港防音対策の一環であり、生活保護世帯の生活支援となっているため、空港存続の間は必要と考える。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第2期実施計画の事業名	生活保護給付・自立支援事業		財務会計上の事業名		
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	1	財務会計上の短縮番号		
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	就労に結びつける		
事業の対象(誰を、何を)	就労可能な生活保護受給者		
事業の手段・方法(どのように)	就労支援専門員による就労相談、求職情報の提供およびハローワークとの連携による支援		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項			

2 事業費等

区分		26年度(決算)		27年度(決算)		28年度(決算)		29年度(予算)		H28/H27
事業費(千円)										-
主な内訳										-
										-
人件費(人・千円)		1.16	5,467	1.12	5,626	1.12	5,524	1.12	5,708	100.0%
内訳	正職員	0.47	3,666	0.51	3,876	0.51	3,774	0.51	3,876	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0.19	551	0.21	630	0.21	630	0.21	672	100.0%
	非常勤職員	0.50	1,250	0.40	1,120	0.40	1,120	0.40	1,160	100.0%
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		5,467		5,626		5,524		5,708		98.2%
財源	国・府支出金	2,326		2,130						0.0%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	3,141		3,496		5,524		5,708		158.0%
一般財源比率 C÷A		57.5%		62.1%		100.0%		100.0%		160.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)			<input type="checkbox"/> 2 実施予定			<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し		
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能		
可能な場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由	委託の場合、委託金額が高く、事業は不可能と思われる。		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(予定)	目標値(H30)
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	就労支援した延人数	人	58	53
<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	就労した延べ人数	人	30	32	30	40	40	
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				数値的には少ないが、対象者に対する達成度としては高いと考える。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				就労支援員とケースワーカー及びハローワークとの連携がスムーズにとれており、増収や就労に結びつけている。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	現状就労支援員とケースワーカー及びハローワークとの連携がスムーズにとれており、増収や就労等、一定の成果に結びついている。	
現在抱える課題と対策	課題	フルタイムでの就労でも収入が少ないという状況が多く、また、就労意欲の乏しい就労困難者が増加しているため、生活保護からの自立や就労に結びつけることが難しい。
	対策	平成28年度より、就労準備事業、就労訓練事業、無料職業紹介を実施し、個々に応じた支援策を提供し、就労に結びつける。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	就労には結びついているものの、就労時間が短い、収入が少ないパート就労が増加しており、生活保護の自立や就労に結びつけるのが難しくなっているため、支援策の充実により就労、増収に結びつける。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第2期実施計画の事業名	ホームレス自立支援事業		財務会計上の事業名	生活困窮者一時生活支援事業 就労準備事業	
(※)第2期実施計画の 分類番号/事業番号	2051	2	財務会計上の短縮番号	2162	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	大阪府・市町村ホームレス自立支援推進協議会の設置に基づき、ホームレスの自立を支援する。
事業の対象 (誰を、何を)	市内ホームレス
事業の手段・方法 (どのように)	巡回相談等の実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	生活困窮者自立支援法

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)						1,501		2,367		-
主な 内訳	負担金					1,501		2,367		-
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.24	1,776	0.24	1,824	-
内 訳	正職員		0		0	0.24	1,776	0.24	1,824	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		0		3,277		4,191		-
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0	0			3,277		4,191		-
一般財源比率 C÷A						100.0%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	大阪府が主体で大阪府社協に業務委託を行っている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	大阪府が主体で大阪府社協に業務委託を行っているため、市独自事業には不可能。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ホームレスの自立支援	人	2	1	2	2	2
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	ホームレス緊急一時宿泊	泊	0	0	0	0	0
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	自立に向けた巡回相談・指導	日	42	41	41	41	41
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		巡回相談により、医療機関受診、施設入所、年金受給等、自立に結びついている。						
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に ついては言及して記入)	巡回相談により、医療機関受診、施設入所、年金受給等、自立に結びついている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組 (平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	巡回相談等を行い、ホームレスの早期発見、支援が必要と考える。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	経済状況の悪化により、今後も住居喪失等でホームレスの増加が考えられる。
	対 策	巡回相談等を行い、ホームレスの早期発見、支援が必要である。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	本市における定着型ホームレス数はH28年度末時点で2名であり、昨年同時期より1名増加した。今後も住居喪失等でホームレスの増加が見込まれるため、ホームレス巡回相談の継続による早期発見と支援実施は必要と考える。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹
(※)第2期実施計画の事業名	低所得者福祉給付事業		財務会計上の事業名	低所得者福祉給付事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	3	財務会計上の短縮番号	2090
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	生活困窮者の生活向上
事業の対象 (誰を、何を)	生活困窮者
事業の手段・方法 (どのように)	水先便所改造資金を支給する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		0		0		0		200		-
主な 内訳	扶助費	0		0		0		200		-
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.01	74	0.02	152	-
内 訳	正職員	0.00	0	0.00	0	0.01	74	0.02	152	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員			0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		0		0		74		352		-
財 源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		0		0		74		352		-
一般財源比率 C÷A						100.0%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	件数(予定)が少ないためアウトソーシング導入は不可能であると思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水洗便所改造資金等	件	0	0	0	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				予算化できないため。(実施計画の目標を達成していない。)				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	件数(予定)は少ないが、必要な事業であると思われる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	水洗化が100%に達するまでは事業の存続は必要である。	
現在抱える課題と対策	課 題	現状とくに課題は無いと思われる。
	対 策	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	現状において課題は見当たらないが、水洗便所改造資金給付金については、水洗化が100%に達するまでは事業の存続は必要である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課	担当課長名	安岡 一樹
(※)第2期実施計画の事業名	福祉貸付事業	財務会計上の事業名	福祉貸付事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051 4	財務会計上の短縮番号	2080
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目1低所得者の自立への支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	低所得者世帯の生活意欲の高揚と経済的自立を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	低所得者世帯
事業の手段・方法 (どのように)	生活つなぎ資金(25万円限度)、入学準備金(30万円限度)、交通通児奨学資金(1人月額2千円を中学卒業までの貸付を行う)。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市福祉貸付金条例、池田市交通通児奨学資金貸付条例

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	4,268	3,493	4,243	4,960	121.5%	
主な内訳	生活資金貸付金	2,350	2,460	1,320	3,000	53.7%
	高等学校入学準備金貸付金	1,800	600	2,490	1,500	415.0%
	消耗品	60	63	63	65	100.0%
人件費(人・千円)	0.47 3,666	0.34 2,584	0.34 2,516	0.34 2,584	100.0%	
内訳	正職員	0.47 3,666	0.34 2,584	0.34 2,516	0.34 2,584	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	7,934	6,077	6,759	7,544	111.2%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	7,934	6,077	6,759	7,544	111.2%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	低所得者の福祉的な事業のため、費用対効果が見合わないことから不可能であると思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	生活つなぎ資金	件	12	8	6	12	12
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	高等学校入学準備金	件	6	8	9	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				対象者に必要な支援を行えた。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				滞納者の増加により、債権整理の対策に改善の余地がある。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	経済状況の悪化により生活つなぎ資金で自立生活を送れたり、高等学校入学準備金による教育、子育て支援施策としてこうかがあるため、従前と同様に実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	滞納者の増加。
	対 策	債権整理に向けて対策が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	低所得者には今後必要な事業ではあるが、滞納者の増加に伴い債権整理の対策が課題である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第2期実施計画の事業名	離職者住宅手当給付事業		財務会計上の事業名	生活困窮者住居確保給付事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	5	財務会計上の短縮番号	2161	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	安定した住居を確保し、就職活動を安心して行うことができるようにする。
事業の対象 (誰を、何を)	2年以内に離職した者で、住居を喪失しているか、もしくは、喪失する恐れのある者
事業の手段・方法 (どのように)	生活保護の住宅扶助基準を根拠に、家賃相当額の住宅手当を給付する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	生活困窮者自立支援法

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		3,777		4,381		5,725		7,218		130.7%
主な内訳	扶助費	3,777		4,381		5,725		7,218		130.7%
										-
人件費(人・千円)		0.45	2,185	0.45	2,220	0.42	1,958	0.42	2,017	93.3%
内訳	正職員	0.20	1,560	0.20	1,520	0.17	1,258	0.17	1,292	85.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.25	625	0.25	700	0.25	700	0.25	725	100.0%
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		5,962		6,601		7,683		9,235		116.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	5,962		6,601		7,683		9,235		116.4%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	自立相談支援を委託することができる。 託かは、府内でも実施体制は異なっている) (直営か委)
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	自立相談支援を委託することができる。 託かは、府内でも実施体制は異なっている) (直営か委)
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	単身世帯延件数	件	44	61	26	72	72
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	複数世帯延件数	件	42	44	98	90	90
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		住居喪失の恐れのある者に対して、一定の支援を行えた。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	現在の社会情勢から今後も失職、住居喪失の可能性のある者の増加が見込まれるため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度から生活困窮者自立支援制度に基づく必須事業として実施。	
現在抱える課題と対策	課 題	今後、委託事業として検討が必要。
	対 策	部内で委託か直営化、及び委託先の選定等が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	生活困窮者自立支援法に基づき、各市において必須事業となるが、今後直営か委託かを検討する必要がある。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹
(※)第2期実施計画の事業名	中国残留邦人生活支援給付事業		財務会計上の事業名	中国残留邦人生活支援給付事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	6	財務会計上の短縮番号	3666
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	日常生活又は社会生活を円滑に営むことができるようにする。
事業の対象 (誰を、何を)	中国残留邦人である生活困窮者
事業の手段・方法 (どのように)	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律に基づき、生活費等を扶助する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27	
事業費(千円)		0		0		0		4,094		-	
主な内訳	生活扶助費	0		0		0		1,784		-	
	医療扶助府	0		0		0		1,560		-	
	住宅扶助費	0		0		0		588		-	
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.10	760	-	
内訳	正職員	0		0		0		0.10		760	-
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0		0		0		0		0	-
臨時的任用職員		0		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		0		0		4,854		-	
財源	国・府支出金									-	
	地方債									-	
	その他()									-	
	うち受益者負担 B									-	
一般財源 C		0		0		0		4,854		-	
一般財源比率 C÷A								100.0%		-	
受益者負担率 B÷A										-	
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容											

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	現状の法律ではみとめられていない

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	対象者	人	0	0	0	2	2
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				対象者がいないため				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			対象者はいないが、法により最低限度の生活が保障された有効な制度である。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	法により、最低限度の生活を保障する制度のため、従前までと同様に実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	現在、対象者が存在しない状況であるが、近年の社会情勢から生活保護世帯は増加しており、中国残留邦人等の対象者も今後出てくる可能性はある。
	対 策	生活保護法の抜本的な見直しとともに、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律の見直しについても検討課題である。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	現在、対象者が存在しない状況であるが、近年の社会情勢から生活保護世帯は増加しており、中国残留邦人等の対象者も今後出てくる可能性はある。生活保護法の抜本的な見直しとともに、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律の見直しについても検討課題である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第2期実施計画の事業名	生活保護受給者等進学支援事業		財務会計上の事業名	生活保護受給者等進学支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	7	財務会計上の短縮番号	2154	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	対象者に大学進学への支援を行い、被保護者世帯等の自立の促進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	生活保護受給者及び児童扶養手当受給世帯の大学進学を希望する高校3年生
事業の手段・方法 (どのように)	大学受験のための学習塾入学金、授業料の助成を行う。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 24 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市生活保護受給者等進学支援給付要綱

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		1,761		1,716		1,732		2,000		100.9%
主な内訳	扶助費	1,761		1,716		1,732		2,000		100.9%
										-
人件費(人・千円)		0.33	2,574	0.47	3,092	0.37	2,278	0.37	2,342	78.7%
内訳	正職員	0.33	2,574	0.37	2,812	0.27	1,998	0.27	2,052	73.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0	0.10	280	0.10	280	0.10	290	100.0%
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		4,335		4,808		4,010		4,342		83.4%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	1,761								-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,574		4,808		4,010		4,342		83.4%
一般財源比率 C÷A		59.4%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	低所得世帯の福祉的な事業のため費用対効果が見合わないことから不可能と思われる。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	支援をした人数	人	5	5	5	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	大学合格者	人	5	5	5	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				制度利用が着実に大学入学に結びついている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	制度利用が着実に大学入学に結びついており、貧困の連鎖解消の一助となっていると考える。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	現状モデル事業として実施中であり、現制度により着実に大学入学に結びついているため、従前までと同様に実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	本事業における効果等測定の必要性
	対 策	今後、本事業の効果や必要性を調査し、平成29年度以降、事業継続の可否を検討していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	大学合格となって、成果を得ている。ただ、大学入学後の協力が消極的である不安もあり、今後は効果や必要性、問題点を整理し、具体的に調査を行い、事業の継続の可否を検討したい。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課		担当課長名	安岡 一樹	
(※)第2期実施計画の事業名	生活困窮者自立相談支援事業		財務会計上の事業名	生活困窮者自立相談支援事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	8	財務会計上の短縮番号	2160	
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち			
	節	第5節生活自立支援の充実			
	項目	項目1低所得者の自立への支援			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	生活困窮者自立支援の自立支援		
事業の対象 (誰を、何を)	生活困窮者		
事業の手段・方法 (どのように)	生活保護に至る前の生活困窮者に対し就労等の相談を行う。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～)		<input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項			

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)				942		774		1,071		82.2%
主な 内訳	負担金			772		676		902		87.6%
	庁用器具費			97		40		100		41.2%
	消耗品			49		35		39		71.4%
人件費(人・千円)		0.00	0	0.75	3,300	0.75	3,250	0.75	3,350	100.0%
内 訳	正職員		0	0.25	1,900	0.25	1,850	0.25	1,900	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0	0.50	1,400	0.50	1,400	0.50	1,450	100.0%
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		4,242		4,024		4,421		94.9%
財 源	国・府支出金			698		663		851		95.0%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		3,544		3,361		3,570		94.8%
一般財源比率 C÷A				83.5%		83.5%		80.8%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容	自立相談支援		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能		
可能の場合:導入可能な業務 (直営か委託かは、府内においても、実施体制は異なっている。)	自立相談支援を委託することができる。 (直営か委託かは、府内においても、実施体制は異なっている。)		
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()		
上記の内容	自立相談支援を委託することができる。 (直営か委託かは、府内においても、実施体制は異なっている。)		
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	支援した人数	人	-	80	59	100	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	就労した人数	人	-	13	18	20	20
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				数値的には少ないが、対象者に対する達成度としては高いと考える。				
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な 内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない (抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に 実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である (改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない (抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移に についても言及して記入)	生活困窮は複合的な課題が多く、適切な支援のできる人材育成と実施体制の構築が必要である。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における 事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成29年度の取組 (平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成27年度より、生活困窮者自立支援に基づく必須事業として実施。	
現在抱える課題 と その対策	課 題	生活困窮は複合的な課題が多く、適切な支援のできる人材育成と実施体制の構築が必要。
	対 策	直営で行うことで、実施体制の充実を図る。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	生活福祉課の窓口で行うことで、生活困窮者の窓口がワンストップ型となり、複合的な課題を有する生活困窮者に包括的、継続的な支援が対応可能である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤井 彰三
(※)第2期実施計画の事業名	助産施設入所事業	財務会計上の事業名	助産施設入所事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051 9	財務会計上の短縮番号	2986
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目1低所得者の自立への支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	妊産婦を助産施設に入所させ、助産措置を行うことを目的とする
事業の対象 (誰を、何を)	保健上必要のある場合や、経済的な理由により入院助産が受けられない妊産婦
事業の手段・方法 (どのように)	助産費用の扶助
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 43 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	児童福祉法、児童福祉法による助産の実施に関する規則、児童福祉法による費用の徴収に関する規則

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	280	0	441	1,639	-	
主な内訳	助産施設扶助費	280	0	441	1,639	-
						-
人件費(人・千円)	0.02 103	0.11 356	0.12 428	0.12 442	109.1%	
内訳	正職員	0.01 78	0.01 76	0.02 148	0.02 152	200.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0.01 25	0.10 280	0.10 280	0.10 290	100.0%
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	383	356	869	2,081	244.1%	
財源	国・府支出金	210	0	330	1,165	-
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	173	356	539	916	151.4%	
一般財源比率 C÷A	45.2%	100.0%	62.0%	44.0%	62.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 26年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	平成27年1月の産科医療補償制度改定による出産一時金の変更に、受益者負担が80,200円から83,000円に増額					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	特別な事情を要する妊産婦を対象としているため、アウトソーシングは馴染まない

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	1	0	2	4	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	保健上必要のある場合や、経済的な理由により入院助産が受けられない妊産婦を対象としているため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	児童福祉法により制度化され実施を義務付けられているため						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年1月の産科医療補償制度改定による出産一時金の変更に、受益者負担が80,200円から83,000円に増額	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	児童福祉法により制度化され実施を義務付けられているため	
現在抱える課題と対策	課 題	産後も経済的困窮状態が変わらず、継続して生活再建への支援が必要な事例が多い
	対 策	保健師や児童相談担当、生活保護担当等と連携しながら、子育てや経済面等の支援を行っている
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	経済的な理由で病院等に入院できない妊産婦を対象に、助産施設(指定病院)で助産を行う児童福祉法に定められた制度	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 総務・学務課		担当課長名	千川 雄一郎
(※)第2期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	小学校就学援助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	10	財務会計上の短縮番号	6180
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	児童の円滑な就学及び特別支援教育の振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由で学校諸費用の給付が困難な児童及び特別支援学級在籍児童の保護者
事業の手段・方法(どのように)	就学援助費(学用品費、給食費、就学旅行費等)及び特別支援教育就学奨励費を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校教育法第19条、池田市就学援助費支給要綱、池田市特別支援教育就学奨励費支給要綱

2 事業費等

区分	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	H28/H27	
事業費(千円)	29,671	28,585	27,986	40,917	97.9%	
主な内訳	学用品費	5,950	6,001	5,544	8,224	92.4%
	修学旅行費・学校給食費	18,260	17,315	17,125	23,640	98.9%
	特別支援教育就学奨励費	5,461	5,269	5,255	9,053	99.7%
	人件費(人・千円)	0.21, 1,333	0.42, 2,012	0.63, 3,522	0.67, 3,912	150.0%
内訳	正職員	0.16, 1,248	0.22, 1,672	0.43, 3,182	0.47, 3,572	195.5%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0.05, 85	0.20, 340	0.20, 340	0.20, 340	100.0%
支出合計 A	31,004	30,597	31,508	44,829	103.0%	
財源	国・府支出金	2,692	2,700	2,622	4,580	97.1%
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	28,312	27,897	28,886	40,249	103.5%
一般財源比率 C÷A	91.3%	91.2%	91.7%	89.8%	100.6%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 28年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直管部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業の申請受付は各市立小学校にて行っている上に、制度の性質上各学校ごとの対象者及び申請件数は少数であるため、アウトソーシングの導入による効果が見込めない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(予定)	目標値(H30)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	要保護・準要保護児童への援助人数	人	413	400	358	439	439
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特別支援学級児童への援助人数	人	198	192	185	294	294
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市広報誌を活用した周知	回	3	3	3	3	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	成果に対する遺漏の有無については、活動指標で示した広報誌のほか、入学説明会への出席者全世帯への案内配布や生活保護担当部局による制度案内等により補充することで、制度の周知徹底と制度利用への促しにより、制度上予定する目的を概ね達成したと考えるため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	事業実施については法制度上定められていることから、それに必要な手続においては裁量の余地が無いものも多いため、受付事務を各学校において行うことで、本事業の適用を正に必要とする世帯に対するきめ細やかなサービスを展開できているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	新入学用品費の支給額引上げ	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	学校教育法第19条に規定する「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」という条項の趣旨に基づく国庫補助対象事業であるため。	
現在抱える課題とその対策	課題	慢性的な景気の低迷を受け、就学に当たり経済的な援助を必要とする世帯は依然として多く、制度趣旨に鑑みて今後とも継続すべき事業と考えるからこそ、限られた予算をいかに効果的に執行するかが難であると認識している。
	対策	関係書類の手続きを漫然と行うことにより経済的理由による就学困難者以外の対象者について認定することが無いよう、学校での受付時及び教育委員会事務局への書類の回送時においてチェック又は審査を確実にしていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	学齢児童を扶養する世帯の中で、その就学について経済的な負担となっているものも依然として多いと認識している。国民の就学義務及び地方公共団体に課せられた援助義務もさることながら、将来を担う児童達の教育の機会均等の観点からも、本事業の継続が必要と考える。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 保健給食課		担当課長名	塩山 宏司
(※)第2期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	小学校就学援助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	10	財務会計上の短縮番号	6180
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	児童の円滑な就学を図る
事業の対象 (誰を、何を)	経済的理由で対象疾患について医療費を支出することが困難な児童の保護者
事業の手段・方法 (どのように)	就学支援費(医療費)を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 39 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校保健安全法第24・第25条

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		468		98		62		260		63.3%
主な内訳	学校医療費	468		98		62		260		63.3%
										-
人件費(人・千円)		0.18	763	0.13	668	0.16	804	0.16	798	123.1%
内訳	正職員	0.05	390	0.05	380	0.06	444	0.06	418	120.0%
	再任用短時間勤務職員	0.08	288	0.08	288	0.10	360	0.10	380	125.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85		0		0		0	-
支出合計 A		1,231		766		866		1,058		113.1%
財源	国・府支出金	18						30		-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,213		766		866		1,028		113.1%
一般財源比率 C÷A		98.5%		100.0%		100.0%		97.2%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	申請受付は学校にて行っており、学校ごとの件数も少ないため、委託になじまないと考える。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	要・準用保護児童への援助人数	人	172	115	76	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		児童の円滑な就学を図ることができたため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	学校教育法第19条の「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」の規定から継続が必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年度より、児童医療助成制度の活用により予算減	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成29年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	非課税世帯や一人親家庭で、経済的に困窮している家庭が依然として多い。
	対 策	今後とも、国や府の動向を見据えて迅速に対応していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	児童の教育の機会均等の観点からも本事業の継続が必要である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 総務・学務課		担当課長名	千川 雄一郎
(※)第2期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	中学校就学援助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	10	財務会計上の短縮番号	6300
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	児童の円滑な就学及び特別支援教育の振興を図る。
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由で学校諸費用の給付が困難な児童及び特別支援学級在籍児童の保護者
事業の手段・方法(どのように)	就学援助費(学用品費、給食費、就学旅行費等)及び特別支援教育就学奨励費を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 39 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校教育法第19条、池田市就学援助費支給要綱、池田市特別支援教育就学奨励費支給要綱

2 事業費等

区 分	26 年度 (決算)	27 年度 (決算)	28 年度 (決算)	29 年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	34,096	33,959	32,946	44,732	97.0%	
主な内訳	学用品費	10,064	9,764	9,364	13,375	95.9%
	修学旅行費・学校給食費・中学校夜間学級就学援助特別支援教育就学奨励費	21,311	21,029	20,883	26,111	99.3%
		2,721	3,166	2,676	5,246	84.5%
人件費(人・千円)	0.21, 1,333	0.42, 2,012	0.63, 3,522	0.67, 3,912	150.0%	
内訳	正職員	0.16, 1,248	0.22, 1,672	0.43, 3,182	0.47, 3,572	195.5%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
臨時的任用職員	0.05, 85	0.20, 340	0.20, 340	0.20, 340	100.0%	
支出合計 A	35,429	35,971	36,468	48,644	101.4%	
財源	国・府支出金	1,511	1,667	1,338	2,922	80.3%
	地方債					-
	その他 ()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	33,918	34,304	35,130	45,722	102.4%	
一般財源比率 C÷A	95.7%	95.4%	96.3%	94.0%	101.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業の申請受付は各市中学校にて行っている上に、制度の性質上各学校ごとの対象者及び申請件数は少数であるため、アウトソーシングの導入による効果が見込めない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	要保護・準要保護生徒への援助人数	人	333	319	298	340	340
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特別支援学級生徒への援助人数	人	64	70	62.0	102	102
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市広報誌を活用した周知	回	3	3	3	3	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	成果に対する進捗の有無については、活動指標で示した広報誌のほか、入学説明会への出席者全世帯への案内配布や生活保護担当部局による制度案内等により補充することで、制度の周知徹底と制度利用への促しにより、制度上予定する目的を概ね達成したと考えるため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由	(指標値や事業費の推移についても言及して記入) 事業実施については法制度上定められていることから、それに必要な手続においては裁量の余地が無いものも多いため、受付事務を各学校において行うことで、本事業の適用を正に必要とする世帯に対するきめ細やかなサービスを展開できているため。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	学校教育法第19条に規定する「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」という条項の趣旨に基づく国庫補助対象事業であるため。	
現在抱える課題とその対策	課 題	慢性的な景気の低迷を受け、就学に当たり経済的な援助を必要とする世帯は依然として多く、制度趣旨に鑑みても今後とも継続すべき事業と考えるからこそ、限られた予算をいかに効果的に執行するかが難であると認識している。
	対 策	関係書類の手続きを漫然と行うことにより経済的理由による就学困難者以外の対象者について認定することが無いよう、学校での受付時及び教育委員会事務局への書類の回送時においてチェック又は審査を確実に行っていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	学齢生徒を扶養する世帯の中で、その就学について経済的な負担となっているものも依然として多いと認識している。国民の就学義務及び地方公共団体に課せられた援助義務もさることながら、将来を担う児童達の教育の機会均等の観点からも、本事業の継続が必要と考える。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 保健給食課		担当課長名	塩山 宏司
(※)第2期実施計画の事業名	就学援助事業		財務会計上の事業名	中学校就学援助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	10	財務会計上の短縮番号	6300
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	生徒の円滑な就学を図る
事業の対象 (誰を、何を)	経済的理由で対象疾患について医療費を支出することが困難な生徒の保護者
事業の手段・方法 (どのように)	就学支援費(医療費)を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 39 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	学校保健安全法第24・第25条

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		123		77		23		112		29.9%
主な 内訳	学校医療費	123		77		23		112		29.9%
										-
人件費(人・千円)		0.18	805	0.13	708	0.15	730	0.15	760	115.4%
内 訳	正職員	0.06	468	0.06	456	0.05	370	0.05	380	83.3%
	再任用短時間勤務職員	0.07	252	0.07	252	0.10	360	0.10	380	142.9%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85		0		0		0	-
支出合計 A		928		785		753		872		95.9%
財 源	国・府支出金							6		-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	928		785		753		866		95.9%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		99.3%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	申請受付は学校にて行っており、学校ごとの件数も少ないため、委託になじまないと考える。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	要・準用保護児童への援助人数	人	40	40	30	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		生徒の円滑な就学を図ることができたため						
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	学校教育法第19条の「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」の規定から継続が必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成27年度より、児童医療助成制度の活用により予算減	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	平成29年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	非課税世帯や一人親家庭で、経済的に困窮している家庭が依然として多い。
	対 策	今後とも、国や府の動向を見据えて迅速に対応していく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	生徒の教育の機会均等の観点からも本事業の継続が必要である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	管理部 総務・学務課		担当課長名	千川 雄一郎
(※)第2期実施計画の事業名	就学就園助成事業		財務会計上の事業名	就学就園助成事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2051	11	財務会計上の短縮番号	5990
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目1低所得者の自立への支援		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	経済的負担を軽減することにより、就学・就園を促進
事業の対象(誰を、何を)	経済的理由のため学資の支弁が困難な高校生及び大学生並びに経済的に恵まれない小学校6年生及び中学校3年生並びに小学校3年生までに兄・姉を有する市立幼稚園就園児
事業の手段・方法(どのように)	高校生及び大学生に対して「くすのき・さつき奨学金」を小学校6年生及び中学校3年生に対して「武田育英学資金」を、上記就園児に対して「幼稚園就園奨励費補助金」をそれぞれ支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 (41 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	くすのき奨学金条例、さつき奨学金支給規則、武田育英基金条例

2 事業費等

区 分	26 年度 (決算)	27 年度 (決算)	28 年度 (決算)	29 年度 (予算)	H28/H27					
事業費(千円)	16,126	15,462	14,889	17,906	96.3%					
主な内訳	賞揚金	9,486	9,352	9,328	10,528	99.7%				
	補助金	5,640	6,110	5,561	7,378	91.0%				
人件費(人・千円)	0.21	1,333	0.42	2,012	0.61	3,374	0.55	3,000	145.2%	
内訳	正職員	0.16	1,248	0.22	1,672	0.41	3,034	0.35	2,660	186.4%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	0	0	0	-	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	-	
臨時的任用職員	0.05	85	0.20	340	0.20	340	0.20	340	100.0%	
支出合計 A	17,459	17,474	18,263	20,906	104.5%					
財源	国・府支出金	1,597							-	
	地方債								-	
	その他(奨学金基金他)	5,710	5,690	5,678	5,726	99.8%				
	うち受益者負担 B								-	
一般財源 C	10,152	11,784	12,585	15,180	106.8%					
一般財源比率 C÷A	58.1%	67.4%	68.9%	72.6%	102.2%					
受益者負担率 B÷A					-					
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	くすのき・さつき奨学金については、高校生については学校推薦により、また大学生については1か月間の募集により、それぞれ対象者選定を行っている。武田育英学資金については、小学生及び中学生については学校推薦により対象者を選定している。就園奨励費については、住民基本台帳の確認による対象世帯の抽出作業を行っている。従って、事務の確保期は一過性であり、費用対効果が見込めないため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	くすのき奨学金の支給人数(大学)	人	28	24	26	32	32
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	くすのき・さつき奨学金の支給人数(高校)	人	160	180	175	183	183
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	武田育英学資金の支給人数	人	16	15	15	15	15
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	新規申請者数(奨学金)	人	84	86	59	—	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	幼稚園就園奨励費補助金の支給人数	人	150	142	117	154	—
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	今後も有効的な手段で周知徹底していくが、支給人数は支給年度の申請者の経済状況等に左右されることから、推移については特段判断できない							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	経済的負担の軽減という本事業の目的に鑑み、その手法を現金給付としていることに加え、その対象者の選考については適切な選考が行われていることから、必要十分な事業執行がなされていると考える。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	国及び府の施策において、公立高校授業料無償化及び私立高校授業料無償化(所得制限あり)に伴い、公私立高校生に関する支給額を同一化	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	学校教育法第19条に規定する「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」という条項の趣旨に基づくものがあるため。	
現在抱える課題とその対策	課 題	奨学金については財源の大半として水本教育振興基金から毎年取り崩しているが、同基金条例に課されている「基金の額は7,000万円を下回らない額とする」という規定がある以上、事業の継続をどうか検討する必要がある。
	対 策	奨学金については生活に困窮している世帯などに対し有効か必要かを再度考え直し、今後一般財源単独で事業を継続していくのか、奨学金制度自体を廃止するのか検討を重ねる。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	奨学金制度については、財源の特徴から今後のあり方を検討していく必要があると思われるが、子ども達の教育の機会均等の観点からも、本事業の継続が必要と考える。また、幼稚園の就園奨励費については、平成30年度から子ども子育て新制度に基づいた保育料応能負担化に伴い、廃止予定。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 生活福祉課	担当課長名	安岡 一樹
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	就労準備事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	2163
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目1低所得者の自立への支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	就労に結びつける。
事業の対象 (誰を、何を)	就労可能な生活困窮者
事業の手段・方法 (どのように)	直ちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、一般就労に必要な知識及び能力の向上が図れるよう支援するため、生活訓練や社会訓練を大阪府下広域で実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	生活困窮者自立支援法

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)						1,501		1,487		-
主な内訳	負担金					1,501		1,487		-
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	1.53	4,880	1.53	5,111	-
内訳	正職員		0		0	0.10	740	0.10	760	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0	0.68	2,040	0.68	2,176	-
	非常勤職員		0		0	0.75	2,100	0.75	2,175	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		0		6,381		6,598		-
財源	国・府支出金					1,028		952		-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		0		5,353		5,646		-
一般財源比率 C÷A						83.9%		85.6%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	大阪府広域就労支援事業に参加。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	大阪府広域就労支援事業に参加。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	就労支援した延人数	人			10	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	就労した延べ人数	人			0	5	5
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		初年度で成果としての実績は無かったものの支援者数については目標値を上回っており、今後は成果についても期待ができるものと考えます。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)		就労支援員とケースワーカー及びA'ワークとの連携がスムーズにとれており、今後就労先の開拓等についても拡大の可能性はある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	就労支援員とケースワーカー及びA'ワークと連携し就労等、一定の成果に結びついている。	
現在抱える課題と対策	課 題	フルタイムでの就労でも収入が少ないという状況が多く、また、就労意欲の乏しい就労困難者が増加しているため、自立や就労に結びつけることが難しい。
	対 策	平成28年度より、就労準備事業、就労訓練事業、無料職業紹介を実施し、個々に応じた支援策を提供し、就労に結びつける。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	現在、就労者は存在しない状況であるが、近年の社会情勢から生活困窮者は増加しており、対象者も今後出てくる可能性はある。自立支援に関する法律の見直しについても検討課題である。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 幼児保育課	担当課長名	衛門 昭彦
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	実費徴収補足給付事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	3027
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目1低所得者の自立への支援	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	低所得者(生活保護世帯)の自立のための支援。
事業の対象 (誰を、何を)	特定教育・保育施設に入所している生活保護世帯。
事業の手段・方法 (どのように)	対象者が通所施設へ対し、支払った金額を調査し、後日支払う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 27 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	子ども・子育て支援法第59条第3項。

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)				25		17		450		68.0%
主な 内 訳				25		17		450		68.0%
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.03	228	0.05	370	0.12	912	166.7%
内 訳	正職員		0	0.03	228	0.05	370	0.12	912	166.7%
	再任用短時間勤務職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)		0	0	0	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0	0	0	0	0	0	0	-
	非常勤職員		0	0	0	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員		0	0	0	0	0	0	0	-
支 出 合 計 A		0		253		387		1,362		153.0%
財 源	国・府支出金					5				-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		253		382		1,362		151.0%
一般財源比率 C÷A				100.0%		98.7%		100.0%		98.7%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	対象人数も少なく、アウトソーシングに出す程でもない。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	給付件数			25	17	450	500
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		元々、受給者世帯が少ないため、ある程度の予測が可能。						
有効性・ 効率性 評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		保育所にて必要なもの4月入園当初にそろえるので補助の方法が他にない。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	対象者も、金額も少なく現状維持。	
現在抱える課題と対策	課 題	特に無し。
	対 策	特に無し。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	国の制度であり、現状維持。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤井 彰三
(※)第2期実施計画の事業名	母子・父子自立支援事業	財務会計上の事業名	-
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2052 1	財務会計上の短縮番号	-
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ひとり親家庭の自立支援
事業の対象 (誰を、何を)	母子家庭の母および父子家庭の父、離婚前の母および父、未婚での出産予定の母
事業の手段・方法 (どのように)	ひとり親家庭の相談窓口となり、社会資源を活用しながら、主体的に問題解決が図れるよう支援する
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 15 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	母子及び父子並びに寡婦福祉法

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		0		0		0		0		-
主な内訳										
人件費(人・千円)		0.33	984	0.38	1,456	0.33	1,066	0.33	1,096	86.8%
内訳	正職員	0.03	234	0.10	760	0.05	370	0.05	380	50.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.30	750	0.20	560	0.20	560	0.20	580	100.0%
	臨時的任用職員		0	0.08	136	0.08	136	0.08	136	100.0%
支出合計 A		984		1,456		1,066		1,096		73.2%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	984		1,456		1,066		1,096		73.2%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担が無いため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法に基づき市が母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要があるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	相談件数	件	519	638	813	500	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		離婚前後の経済的な対応や養育等、ひとり親家庭が抱える問題への相談を受けていることで、自立支援につながっているため						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	相談者の要望に応じて、有効な支援策を案内する等、自立に向けて適切な助言を行っている						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 24 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	父子家庭の父が対象に加わる	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	ひとり親家庭を取り巻く環境は以前として厳しい状況であり、就労等で経済的な問題に直面していることから、自立を図れるよう継続して事業を推進していく必要がある	
現在抱える課題と対策	課 題	家庭によって生活環境も抱える課題も多岐に渡るため、個別の状況に応じて適切な助言・支援を行うことができる体制の強化が必要
	対 策	ひとり親家庭の経済力向上を図るため、自立支援プログラム策定事業や自立支給付事業を活用する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく事業。実施を継続。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤井 彰三
(※)第2期実施計画の事業名	母子・父子自立支援プログラム策定事業	財務会計上の事業名	-
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2052 2	財務会計上の短縮番号	-
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	児童扶養手当受給者に対し、継続的な自立・就労支援を実施することを目的とする
事業の対象 (誰を、何を)	生活保護受給以外の者で、児童扶養手当を受給及び同等の要件を満たしている母子家庭の母及び父子家庭の父
事業の手段・方法 (どのように)	母子・父子自立支援員と職業安定所が連携し、自立に必要な情報提供及び指導、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行う
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 15 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	母子及び父子並びに寡婦福祉法、池田市母子・父子自立支援プログラム策定事業実施要綱

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		0		0		0		0		-
主な内訳										
人件費(人・千円)		0.42	1,156	0.22	712	0.25	930	0.25	960	113.6%
内訳	正職員	0.02	156	0.02	152	0.05	370	0.05	380	250.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	0.40	1,000	0.20	560	0.20	560	0.20	580	100.0%
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		1,156		712		930		960		130.6%
財源	国・府支出金	140		140		60		140		42.9%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,016		572		870		820		152.1%
一般財源比率 C÷A		87.9%		80.3%		93.5%		85.4%		116.4%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
	上記の内容	受益者負担が無いため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法に基づき市が母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要があるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	7	7	3	5	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				受給者の就労・増収ニーズに基づき自立支援計画を策定しているため				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)				法に基づき市が母子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要がある。また、継続的な自立・就労支援の一助となっている				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 23 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		父子家庭の父が対象に加わる
平成29年度の取組(平成28年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		ひとり親家庭を取り巻く環境は以前として厳しい状況であり、就労等で経済的な問題に直面していることから、自立を図れるよう継続して事業を推進していく必要がある
現在抱える課題とその対策	課 題	相談者によって就労経験や技能、家庭内の生活状況等、抱える課題が多岐に渡るため、個別の状況に応じて適切な助言・支援を行うことができる体制の強化が必要
	対 策	ひとり親家庭の技能習得を図るため、自立支給付金事業や職業訓練を活用する。また、個別の状況に応じた就労ができるよう、ハローワーク等と連携を図る
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由		母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく事業。実施を継続。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤井 彰三
(※)第2期実施計画の事業名	児童扶養手当給付事業	財務会計上の事業名	児童扶養手当給付事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2052 3	財務会計上の短縮番号	2985
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進
事業の対象 (誰を、何を)	主に18歳までの児童を養育しているひとり親家庭や、父または母が一定程度の障がいのある状態にある家庭の父母
事業の手段・方法 (どのように)	児童扶養手当の支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 14 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	児童扶養手当法

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	358,832	347,887	349,966	373,859	100.6%	
主な内訳	児童扶養手当	351,435	346,924	346,162	372,862	99.8%
	電算委託料	3,178	695	3,561	695	512.4%
	機器借上料	4,172	0	0	0	-
人件費(人・千円)	3.22 11,856	2.85 9,841	3.06 11,229	3.06 11,446	107.4%	
内訳	正職員	1.02 7,956	0.83 6,308	1.04 7,696	1.04 7,904	125.3%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0.20 500	0.09 252	0.09 252	0.09 261	100.0%
臨時的任用職員	2.00 3,400	1.93 3,281	1.93 3,281	1.93 3,281	100.0%	
支出合計 A	370,688	357,728	361,195	385,305	101.0%	
財源	国・府支出金	117,114	115,481	115,367	124,287	99.9%
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	253,574	242,247	245,828	261,018	101.5%	
一般財源比率 C÷A	68.4%	67.7%	68.1%	67.7%	100.5%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担が無いため					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	窓口業務、現況届受付業務をアウトソーシングにすることで、担当職員が審査・認定事務に専念できる
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値 (H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	対象人数	件	871	862	857	865	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				児童扶養手当法の要請に基づく事業のため				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)		ひとり親家庭の生活の安定や自立の促進につながっている。児童扶養手当法の要請に基づく事業のため						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	平成26年12月の法改正により、児童扶養手当額が公的年金額より低い場合、その差額が受給できるようになった	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	児童扶養手当法の要請に基づく事業のため	
現在抱える課題とその対策	課 題	生活の安定や自立の促進にはつながっているものの、社会情勢としては多くのひとり親家庭が慢性的な貧困状態に陥っている
	対 策	新規申請・現況届時の聞き取りで支援への要望をくみ上げ、母子・父子自立支援員や子育て関連部局等を案内し、生活の安定や自立の促進への取り組みにつなげていく
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	引き続き、児童扶養手当法の趣旨に沿って適正な認定・支給事務を行い、ひとり親家庭の生活の安定や自立の促進に努める	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤井 彰三
(※)第2期実施計画の事業名	母子生活支援施設入所事業	財務会計上の事業名	母子生活支援施設入所事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2052 4	財務会計上の短縮番号	2987
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	母子家庭の自立支援を図る
事業の対象(誰を、何を)	配偶者のいない女性、またこれに準ずる事情のある女性と監護すべき児童(家庭内暴力の事例も含む)
事業の手段・方法(どのように)	施設入所により措置(池田子ども家庭センターと連携)
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 62 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	児童福祉法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、児童福祉法による母子保護の実施に関する規則、児童福祉法による費用の徴収に関する規則

2 事業費等

区分	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	H28/H27	
事業費(千円)	0	0	0	1,686	-	
主な内訳	母子扶助費	0	0	0	1,686	
人件費(人・千円)	0.05 231	0.22 712	0.22 708	0.22 732	100.0%	
内訳	正職員	0.02 156	0.02 152	0.02 148	0.02 152	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0.03 75	0.20 560	0.20 560	0.20 580	100.0%
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	231	712	708	2,418	99.4%	
財源	国・府支出金			1,263	-	
	地方債				-	
	その他()				-	
	うち受益者負担 B					
一般財源 C	231	712	708	1,155	99.4%	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	47.8%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 26 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	国の要綱に合わせて、非課税世帯徴収金額を0円から1,100円に改定					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	DV被害者等、特別な配慮を要する家庭を支援するため、アウトソーシングは馴染まない

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(予定)	目標値(H30)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	0	0	0	3	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	配偶者のいない女性、またこれに準ずる事情のある女性と監護すべき児童を対象としているため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	児童福祉法による母子保護の実施に関する事業のため現状のまま継続が必要							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 26 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	国の要綱に合わせて、非課税世帯徴収金額を0円から1,100円に改定	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	児童福祉法による母子保護の実施に関する事業のため現状のまま継続が必要	
現在抱える課題と対策	課題	施設が市外で遠方にあり、自立に向けての決め細やかな支援・指導が難しい。また、比較的人所しやすい施設は、都心部から離れていて、利用者の就職活動を阻害している
	対策	入所施設等と連携し、きめ細かい支援・指導を努力する。また、他の有効な支援策が適用できるような情報収集に努める
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	家庭内暴力等の被害からの母子保護や経済的自立支援として、児童福祉法に定められた事業。実施を継続	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	子ども・健康部 子育て支援課	担当課長名	藤井 彰三
(※)第2期実施計画の事業名	母子家庭等自立支援給付事業	財務会計上の事業名	母子家庭等自立支援給付事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2052 5	財務会計上の短縮番号	3001
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち	
	節	第5節生活自立支援の充実	
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	資格修得により、安定した就労または増収を図り、母等の自立を促進することを目的とする
事業の対象 (誰を、何を)	母子家庭の母および父子家庭の父
事業の手段・方法 (どのように)	教育訓練講座受講者または資格取得のため養成機関での修業者に給付金を支給
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度＋市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	母子及び父子並びに寡婦福祉法、池田市ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業実施要綱、池田市ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等支給事業実施要綱、池田市ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金支給要綱

2 事業費等

区分	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	5,420	6,746	4,285	11,292	63.5%	
主な内訳	補助金【民生費】	5,420	6,746	4,285	11,292	63.5%
						-
人件費(人・千円)	0.07 281	0.23 788	0.26 1,004	0.26 1,036	113.0%	
内訳	正職員	0.02 156	0.03 228	0.06 444	0.06 456	200.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0.05 125	0.20 560	0.20 560	0.20 580	100.0%
臨時的任用職員	0	0	0	0	-	
支出合計 A	5,701	7,534	5,289	12,328	70.2%	
財源	国・府支出金	4,064	5,059	3,213	8,469	63.5%
	地方債					-
	その他()					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	1,637	2,475	2,076	3,859	83.9%	
一般財源比率 C÷A	28.7%	32.9%	39.3%	31.3%	119.5%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担が無いため					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	法に基づき市が母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭への支援を行う必要があるため

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	実施人数	人	5	7	4	17	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	申請者のニーズに基づき支援を行っているため							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	資格修得後の世帯の所得水準は向上しており、社会的自立を促す効果が認められる							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	高等学校卒業程度認定試験合格支援が新たに事業に加わる	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	ひとり親家庭を取り巻く環境は以前として厳しい状況であり、就労等で経済的な問題に直面していることから、自立を図れるよう継続して事業を推進していく必要がある	
現在抱える課題とその対策	課題	資格修得の要望があっても、修学費等の諸問題で要件に該当せず事業対象に至らないケースもある
	対策	自立支援プログラム策定事業を活用し自立に向けての就労計画を立てつつ、ハローワーク等の公的機関が主催する職業訓練講座を案内する
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	資格取得のための経費を支援するもので、ひとり親の自立と生活の安定に有効	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	福祉部 保険医療課		担当課長名	奥村 芳弘
(※)第2期実施計画の事業名	ひとり親家庭医療事業		財務会計上の事業名	ひとり親家庭医療事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	2052	6	財務会計上の短縮番号	2480
総合計画の体系	章	第2章みんなが健康でいきいきと暮らせるまち		
	節	第5節生活自立支援の充実		
	項目	項目2ひとり親家庭への支援の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	受給者の医療費負担を軽減することにより、健康の保持と生活の安定、福祉の増進を図る。
事業の対象(誰を、何を)	18歳の年度末までの子とその母又は父若しくは養育者のうち、所得制限を満たす方
事業の手段・方法(どのように)	入院・通院に係る健康保険適用後の自己負担額から規則で定める自己負担額を差し引いた金額及び入院時食事療養費(標準負担額)を助成する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 55 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	大阪府ひとり親家庭医療費助成制度要領・池田市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例

2 事業費等

区分		26年度(決算)		27年度(決算)		28年度(決算)		29年度(予算)		H28/H27
事業費(千円)		64,139		60,934		62,229		64,985		102.1%
主な内訳	手数料	1,717		1,645		1,673		2,031		101.7%
	電算委託料	2,834		2,857		2,857		2,858		100.0%
	ひとり親家庭医療扶助費	54,971		56,348		57,621		60,000		102.3%
人件費(人・千円)		0.80	5,020	0.80	4,900	0.80	4,780	0.80	4,900	100.0%
内訳	正職員	0.60	4,680	0.60	4,560	0.60	4,440	0.60	4,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.20	340	0.20	340	0.20	340	0.20	340	100.0%
支出合計 A		69,159		65,834		67,009		69,885		101.8%
財源	国・府支出金	28,191		29,131		30,529		31,281		104.8%
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	40,968		36,703		36,480		38,604		99.4%
一般財源比率 C÷A		59.2%		55.8%		54.4%		55.2%		97.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		大阪府の医療費助成制度と同一内容で実施しているため。(同一医療機関で入院・通院とも月2日まで各500円(上限)の負担)								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	医療費助成に係る電算システムを委託
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	医療証の発行や、医療費助成の申請受付業務など
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	他医療(児童医療や老人医療など)の業務と一括して委託に切り替えることで、コストを削減できる可能性があるとともに、職員の事務負担の軽減を図ることができる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内 容	単 位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値(H30)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	対象者	人	1,918	1,926	1,865	1,950	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	一人当たりの年間給付額	円	28,661	29,257	30,896	30,770	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	対象者把握率	%	100	100	100	100	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	申請率	%	100	100	100	100	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		医療費負担を軽減できたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	医療費の一部を助成することで、対象者が必要とする医療を容易に受けることができる。事業の効率性については、他の医療とともに簡易な受付業務等を外部委託することにより、事務の効率化が見込める。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	対象者が必要とする医療を容易に受けることができるように、引き続き事業を実施していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	他府県受診に伴う医療費償還申請の受付業務及び処理業務の増加、医療の高度化等による扶助費の増加。
	対 策	簡易な窓口業務等の外部委託化により効率的な運営を行う。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	対象者が減少したにもかかわらず、医療の高度化等により扶助費や事務経費の増加を見込んでいる。今後、当事業を持続可能な制度として継続していくためには、窓口業務の効率化などコストの削減による事業費部分の圧縮が必要だと考えている。	